

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE



CAR No.34

2014/9/30

CAR No.35



スーパーFJ 東北シリーズ 第 5 戦



横江 大

加藤 泰賀

アルビモーターフリーク

アルビビヨンド GIA タイガ ED

CAR No.36

CAR No.37



早坂 祐希

小村方 喜章

アルビ玉三郎 EDGIA

アルビメーカーウィナー K-Winds

9月27日(土) 予選・決勝

スポーツランド菅生 1 LAP=3.704km 出走：7台

予選結果：早坂選手 1位 小村方選手 3位 加藤選手 5位 横江選手 7位

決勝結果：早坂選手 2位 小村方選手 3位 横江選手 6位 加藤選手 7位

**早坂選手2位、小村方選手3位でダブル表彰台獲得！
東北シリーズランキングも2位・3位決定！**

■9月27日(土) 8時30分予選スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：17℃ 湿度：62% 路温：24℃

15分間の予選がスタート。シリーズチャンピオンをかけて挑む早坂選手は計測開始 2周目に全体のトップタイムをマークする。しかし、7分が経過する頃、加納選手が縁石を跨いでしまった際に縁石がオイルパンにヒット。結果、コースほぼ1周に渡ってオイルがまき散らされてしまい、予選は赤旗中断に。予選はそのまま終了となり、早坂選手が予選 1位、篠原選手、小村方選手が 2位、3位と続いた。

加藤選手、横江選手も満足な走行はできず、それぞれ 5位、7位で決勝を迎える。

■9月27日(土) 16時8分決勝スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：20℃ 湿度：50% 路温：31℃

ポールポジションの早坂選手がスタートを決め、1コーナーを制すると 2番手に篠原選

手を従えレースをリードしていく。しかし3周目、ペースで上回る篠原選手が馬の背コーナーでインを差し、早坂選手を捉えトップに浮上すると、そのまま少しずつ早坂選手を引き離し始める。篠原選手はそのまま逃げ切り今季4勝目、東北シリーズチャンピオンを獲得した。早坂選手は2位、小村方選手が3位に入り、それぞれ東北シリーズのシリーズランキング2位、3位を獲得した。

加藤選手は5番手スタートから徐々にペースを上げ、4番手柴田選手を追い上げていくが、10周目のレインボーコーナーでタイヤをダートに落としてしまい単独スピン、左リヤからクラッシュしてしまう。幸い加藤選手にケガはなかったものの、レースの続行は不可能となり、規定周回数は満たしていたため正式結果は7位となった。

レース参戦2戦目となる横江選手は加藤選手のクラッシュの影響もあり6位にポジションを上げ、さらに5番手加納選手との距離を徐々に縮めていくもチェッカーフラッグとなり、6位でレースを終えた。

○横江選手コメント

今回は前回よりもいいレースができて、タイムも大幅に更新できたのでよかったです。来年はシーズンを通していい位置を争えるようしっかり準備して臨みたいです。シーズン途中からでしたが、チームの皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。

○加藤選手コメント

今回のスピンはもったいなかったです。今シーズンは不甲斐ないレースばかりだったので、オフシーズンの間しっかり練習して来年に備えたいと思います。最後に、チームの皆さん、支えて下さった皆さん、本当に1年間ありがとうございました。

○早坂選手コメント

シリーズタイトル獲得を目指したシーズンでしたが、目標がクリアできず悔しいシーズンでした。ただ、まだ今週末にはF1のサポートレースも控えているので、全力を出し切りたいと思います。

○小村方選手コメント

今シーズンは表彰台を獲得できて、少しですがステップアップできたと思います。来年はシリーズチャンピオンを獲得できるよう、これから準備・練習していきます。チームの皆さんにはシーズンを通してお世話になりました、ありがとうございました。

○中村監督コメント

今回はシリーズチャンピオンを決定する大事な一戦となりました。東北を牽引しているチームとして是非タイトルを獲得したいところでした。

横江選手については今回2回目の参戦となり、まだまだ走行時間があれば伸びるので今後に期待します。加藤選手は気合が空回りした感がありました。決勝では後半どんどん前車との間隔をつめていったので期待しましたが、若いですね。限界を超えてしまいました。来年度も参戦を表明していますので早期に体制を整えて来年にチャレンジしてほしいです。

小村方選手は本当に運転が上手くなったと思っています。安定してタイムを出せる様になってきました。来年はチャンピオン候補だと思います。チャレンジしてほしいです。

早坂選手に関しては今年度東北シリーズの選手リーダーとして皆を良くまとめてくれました。実力もつき、他のカテゴリーに参戦するなど飛躍の一年でした。今後もステップアップを含め、更なる高みを目指してほしいです。

総じてチーム2年連続でランキング2位ということになりました。シリーズチャンピオンを獲得するにはあと何が足りないかチームで検証し、来年はチャンピオン獲得に向けてチーム一丸となって努力いたします。今年度応援誠に感謝いたします。





P PLUS  Nankai Plus.Co.,LTD.  鈴木会計     

新潟日報   

GIA 専門学校  新潟国際自動車大学校  学校法人 開志学園 高等学校 

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ ・ 関根車体